

ない。

この問題をどう位置づけるかは難しいところ。大変深刻にとらえるべきか、単純な1つの事柄としてとらえるか、解釈が微妙。生の声、本音の話が入ってくるということであるが、こういう地域の会があり、耳に入れておきたいとする声が入って来ることをとつても、この会の一つの意味がある。そういった声が事実とすれば、もう少し幅広く吸い上げるチャンネルが広がることが望まれる。事の真偽は別にして、色々な声が出てくることは大事で、結構な事、基本的には良い事だと思っている。

意見

東電と国、行政も、建前・マニュアルの説明に終始しているが、それが完璧であれば問題は起きないはず。それが実際には違うようだということが危機感を持って今回の問題を見ている。そういう新しい段階での行政の新しい対応を考えてほしい。

市長 東電も今回のような事があるということも前提には置いていなかったと思う。安全性には影響ないと思うが、想定範囲外のことが起こったことについての一種の警戒心や構えは、多少は必要になってくると思う。



● **保安院の対応**

意見

東電が安全だと言っても反発や疑いが出てくる。今回のような場合、保安院がこういう理由で安全性に支障はない等の見解を即座に責任を持って行い、客観的に見た規制の立場できちつと言ってもらえば我々としてもわかりやすい。

意見

市民としては、最終的な責任はやはり国に負っていただきたいという願望がある。事が起きた時、最高責任を持つ所から何らかのメッセージ

ジが当然発せられるべきだと思う。東電の見解はあっても国からはタイムリーな情報がない。10月1日以降少しは変わるのかと期待していたが、兆しが見えない。

安心の部分完全に解決されないうちに起こった今回の問題を保安院がどう考えているのか疑問。大方の市民が安心を得るようなものが施策の中にあるべきで、一段と努力を願いたい。

● **保安院の分離独立**

意見

保安院の分離独立問題を一番先にやるべき。問題が起きた時、国策なので、まずは国が前面に出て市民に説明し、東電を指導していく形をとらない限り、市民は納得しない。

原子力発電を指導・検査する側と、進める側が一緒になっている点の改善を要望。また、保安院からの説明がほとんど無い現状。今後は保安院が前面に出てやるべき。

意見

知事・市長が保安院の独立の問題について、きちんと意見表明したことは良いこと。今後も根気強くやって欲しいし、地域の会としても同様に意見を出していくことが大事。